

第2回 米子市美保中学校区義務教育学校開校準備委員会
学校運営部会議事録（概要）

- 1 日 時 令和6年7月23日（火）午後7時
- 2 場 所 米子市立大篠津小学校 理科室
- 3 出席者

出席した委員の氏名（順不同）

木村 俊二、池本 翼、鎌田 真治、矢倉 志保、安本 むつみ、安達 庸、
安藤 幸枝（副部会長）、長谷 桂、竹本 法子、遠藤 東代子（部会長）、
堀場 善智、河本 里美、實近 浩二、太田 敦弘

説明のために出席した職員の職氏名

教育委員会事務局長	長谷川 和秀
こども政策課長	永榮 一博
こども政策課長補佐兼指導主事	遠藤 幸子
こども政策課担当課長補佐	金田 有史
こども政策課係長	松井 雅之
こども政策課主任	白川 健四郎
こども政策課主任	名原 裕紀

4 次第

- (1) 学校運営部会のスケジュールについて
- (2) 制服の選定について
- (3) 体操服等の選定について

5 質疑、意見の概要

○制服について

- ・私服だと日々の洗濯が大変。
- ・制服は、冠婚葬祭にも使える。
- ・現在の美保中の制服をそのまま着るのではなく、新しいものを作りたい。
- ・新しい制服導入時の在校生は、今の制服を着続けるのか。
- ・校章だけを変更するなどして、今の制服も着続けることができるのではないか。
- ・制服1式そろえると4～5万円かかる。制服を着る期間があと数年であるなら、在校生は今の制服を着続けてもいいのではないか。
- ・新旧の制服が混在する期間があっても仕方ない。
- ・移行期間を2年ぐらい設けて、新旧どちらの制服でも着られるようにするのもいい。

- ・多様性や最近の傾向を考えると、ブレザーのほうがメリットが多そう。
- ・誰もが着たいものを着る、自由に選べる、ということが大事。
- ・スカート・スラックスだけでなく、ネクタイやリボンも選べるといい。

○体操服について

- ・新しい体操服を作製する。
- ・開校前に変更してもいいが、導入時期は今後検討していく。
- ・新素材の体操服を検討してみてもいいと思う。
- ・白だと透けるし、汚れが目立つので、濃い色のものがいい。
- ・外で運動することを考えると、白または薄い色のものがいい。
- ・業者にどんなものがいいか要望を言って、サンプルを見せてもらいたい。
- ・学校によってスクールカラーを取り入れているところがある。新しい義務教育学校の体操服にも取り入れるかどうかは今後検討が必要。

○今後について

- ・保護者や子どもたちの意見も取り入れながら、検討を進める。